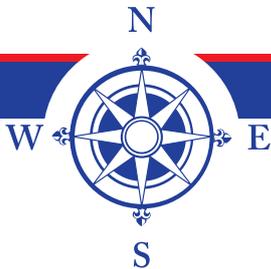


KANDAI NEWS

■ 関大ニュース



大学生観光まちづくりコンテスト2013 商学部の石崎和希さんがパフォーマンス特別賞受賞



「泉佐野市の地域再生」をテーマに行われたプレゼンテーション
「パフォーマンス特別賞」を受賞（写真右が石崎さん）

9月18日、「大学生観光まちづくりコンテスト2013」の西日本ステージにおいて、石崎和希さん(商4)がリーダーを務める「京都すばるOB」が発表した「泉佐野市観光村構想計画」がパフォーマンス特別賞を受賞した。このコンテストは観光まちづくりを通じた地域活性化プランを競うもので観光庁等が後援、本年度は「訪日外国人向け観光まちづくりプラン」をテーマに東・西日本の2ステージで開催。全国より185チーム、1010人の大学生がエントリーした。

「京都すばるOB」は本学の石崎さんと高校時代の同級生2人のチーム。TV番組で高校生が地域活性化に取り組む姿を見て、「負けられない」と応募し、財政健全化を目指している泉佐野市を再生するため、関西国際空港のある立地を生かした観光村の建設を提案した。石崎さんは「これまでにKUBIC等に参加して培った商学部でのスキルを生かすことができました。受賞後、泉佐野市役所の方々から意見交換の場を作りたいという申し出を頂きました。私達のプランが少しでも役に立てばうれしいです」と語った。

平成25年度女子57回全日本学生テニス選手権大会で 体育会テニス部の藤原悠里さんが優勝



優勝を果たした藤原さん（写真提供：関大スポーツ編集局）

8月19日、21日から27日に岐阜県・岐阜メモリアルセンターで開催された平成25年度女子57回全日本学生テニス選手権大会において、体育会テニス部の女子主将・藤原悠里さん(人4)が、女子シングルスで見事、優勝を果たした。これは、体育会テニス部創部93年目にして初の快挙。藤原さん自身にとっても初の大会制覇となった。

また、10月23日から31日まで行われた、全日本大学対抗テニス王座決定試合に創部初となる男女揃っての出場を果たし、男女共に4位と健闘した。

第65回全日本大学準硬式野球選手権大会で 体育会準硬式野球部が創部以来初の全国優勝

8月22日から27日まで東京都・昭島市民球場、八王子市民球場、立川公園野球場、上柚木公園野球場で開催された文部科学大臣杯第65回全日本大学準硬式野球選手権大会において、体育会準硬式野球部が創部以来初となる全国優勝を果たした。

準決勝では大会3連覇を目指す強豪・中央大学を2対1で制し、決勝では甲南大学と対戦。2対2の同点で迎えた最終回で勝ち越しに成功し、4対2で勝利を収めた。



全国優勝を決めた体育会準硬式野球部（写真提供：関大スポーツ編集局）

リクルート「進学ブランド力調査2013」で、 本学が関西エリアの「志願したい大学」第1位に

株式会社リクルートが実施した「進学ブランド力調査2013 高校生に聞いた大学ブランドランキング2013」において、関西大学が関西エリアの「志願したい大学ランキング」で第1位となった。この調査は、関東・東海・関西エリアの高校に通っている2014年3月卒業予定者7万4000人を対象として実施されたもの。関西エリアの調査対象大学250校のなかで、本学は6年連続して第1位を獲得した。

創立130周年記念事業キャッチコピー・シンボルマークを選定

2016年に本学が創立130周年を迎えるにあたり、キャッチコピーとシンボルマークを本学関係者に広く募集し、キャッチコピー922点、シンボルマーク178点の応募があった。

本学学生による人気投票も参考に厳正な審査を行った結果、以下のとおり最優秀作品を選定した。今後、一部修正を加える場合があるが、記念事業を推進していくために広く活用される。

- キャッチコピー
「この伝統を、超える未来を。(関西大学130周年)」
受賞者名 山本高史さん(教職員)
- シンボルマーク

 受賞者名 水出幸輝さん
(社会学研究科博士課程前期課程1年次生)

〈審査委員長コメント〉
キャッチコピーは、130年の伝統への自信と、未来への変革の決意を端的に表現し、群を抜いていると高く評価された。シンボルマークは、関大の象徴である「葦の葉」と紫紺カラーをシンプルにデザイン化し、未来に向けて発展する力強さを表現した点が高く評価された。
両作品が組み合わせられて使用されると、より力強く洗練された関西大学のイメージを社会に伝えることができるだろうというのが審査委員会の一致した意見である。